

令和 8 年度

高根沢町教育委員会点検・評価報告書
(令和 7 年度対象)



令和 8 年 8 月

高根沢町教育委員会

目 次

1 はじめに	1
(1) 趣旨	
(2) 点検・評価の対象	
(3) 点検・評価の流れ	
2 教育委員会の活動状況	2
(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況	
(2) 教育委員会会議の項目別事項	
(3) 教育委員会会議以外の活動状況	
3 点検・評価報告書	6
～学校教育課～	
基本目標 「未来を創る子どもたち」を育てる	
施策1 生きる力の育成	
① 確かな学力の育成（ICT教育・英語教育の推進）	
② 学ぶ意欲と自己肯定感・自己有用感の育成	
③ 健やかな体の育成	
施策2 安心して学習できる環境づくりの推進	
① 教育環境支援の充実	
② 安心・安全な学校づくり	
③ 地域とともにある学校づくり	
～生涯学習課～	
基本目標 「生涯学習・文化・スポーツ」を振興する	
施策1 身近で学べる生涯学習環境の充実	
施策2 文化・歴史を活用した郷土愛の醸成	
施策3 スポーツに親しむ機会と環境の創出	
施策4 女性が活躍する社会の実現と結婚活動の推進	
～こどもみらい課～	
基本目標 「安心して産み、子育てができるまち」をつくる	
施策1 安心して産み、子育てできる応援体制の充実	
施策2 子育て応援体制と情報発信力の強化	
施策3 幼児期教育・保育ニーズへの対応	
4 外部評価	36

1 はじめに

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検及び評価を行うこととされています。

高根沢町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の施策全般について、点検・評価を行い、その結果をとりまとめました。

(2) 点検・評価の対象

令和7年度の主な実績を「高根沢町地域経営計画 2016（後期計画）」における基本目標・施策ごとに分類し、主な事業の実施状況を対象に点検・評価を行いました。

(3) 点検・評価の流れ

「点検・評価報告書」については、主な事業の「実施内容」に関する資料を所管課が作成しました。

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験を有する第三者からの意見を聴取し項目別に点検・評価を行いました。

なお、外部評価は、「A」・「B」・「C」の三段階で評定を実施しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況

高根沢町教育委員会の会議は、毎月1回の「定例会」と、必要に応じて開催する「臨時会」があり、令和7年度は合計13回の会議を開催し、審議等を行いました。

期 日	会議の 種 類	付議案件等（●審議、□報告、○その他）
R7. 4. 9	定例会	●高根沢町教育大綱・教育振興基本計画の検討について □高根沢町教育委員会教育長職務代理者の委嘱について □令和7年度高根沢町教育委員会事務局人事配置について □令和7年度高根沢町教育委員会事務事業の概要について □令和7年度指定校変更許可及び区域外就学許可等の報告について
R7. 5. 21	定例会	●高根沢町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ●高根沢町教育大綱・教育振興基本計画の検討について □高根沢町教育委員会の学校訪問について
R7. 6. 18	定例会	●高根沢町学校運営協議会委員の任命について ●高根沢町社会教育委員並びに高根沢町公民館運営審議会委員の委嘱について ●高根沢町学校職員服務規程の一部改正について ●高根沢町体育施設設置及び管理に関する条例施行規則及び高根沢町教育委員会事務局組織規則の一部改正について ○高根沢町図書館利用者アンケートについて
R7. 7. 16	定例会	●高根沢町教育支援委員会委員の委嘱について ●高根沢町社会教育委員並びに高根沢町公民館運営審議会委員の委嘱について（追加） ●令和8年度使用教科用図書採択について □高根沢町教育委員会教育長職務代理者の指名について □令和7年度 夏休み！たんたん探検隊事業について
R7. 8. 20	定例会	●学校規模適正化の検討について □高根沢町指定校変更及び区域外就学に関する要綱の一部改正について □令和7年度高根沢町教育委員会点検・評価報告書について □就学援助の認定状況について（令和7年度第1回報告分） □高根沢町要保護児童対策地域協議会について
R7. 9. 17	定例会	●令和7年度 高根沢町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について（欠員補充） ●学校規模適正化の検討について □高根沢町学校給食費減免規則の一部改正について □高根沢町学校給食費減免相当額助成金交付要綱の一部改正について □令和7年度 夏休み！たんたん探検隊について ○9月議会定例会における教育委員会関係事項（情報提供）

期 日	会議の 種 類	付議案件等（●審議、□報告、○その他）
R7. 11. 12	定例会	●高根沢町学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針（案） □高根沢町通学路安全プログラムに基づく合同点検の実施結果について
R7. 11. 20	定例会	●高根沢町学校教育基本計画（案）について ●学校規模適正化の検討について
R7. 12. 17	定例会	●高根沢町学校教育基本計画（案）について ●高根沢町学校規模適正化の検討について □令和7年度松谷正光ドリーム事業「夢見る授業」について
R8. 1. 21	定例会	●高根沢町学校運営協議会規則の一部改正について ●高根沢町学校教育基本計画（案）について ●学校規模適正化の検討について ●「高根沢町元気あっぷ計画（案）」について □令和8年度小規模特認校就学許可について ○令和8年二十歳の集いについて
R8. 2. 18	定例会	●高根沢町学校教育基本計画（案）について ●学校規模適正化基本計画（案）について ●学校施設長寿命化計画（改定案）について □令和7年度 hyper-QU（2回目）の結果について □就学援助の認定状況について（令和7年度第2回報告分） □小規模特認校就学許可について（取消し・追加） □教育上特別な支援を要する児童生徒の教育措置について
R8. 3. 10	臨時会	●教職員人事の内申について
R8. 3. 18	定例会	●高根沢町スポーツ推進委員の委嘱について ●高根沢町文化財保護審議会委員の委嘱について □「高根沢町こども計画」策定について □高根沢町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について □公立保育園の集約及び改修に伴う移転について □教育上特別な支援を要する児童生徒の教育措置について（追加分） ○令和8年度教育委員会日程(案)・令和8年度小中学校主要行事一覧(仮)について

(2) 教育委員会会議の項目別事項

令和7年度に教育委員会会議にかけられた議案等を項目ごとに分類しました。

項 目	件数
① 町教育行政の運営に関する一般方針及び計画を定めること	15
② 教育委員会規則及び規程の制定又は改廃に関すること。	3
③ 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。	
④ 教育機関の設置若しくは廃止又は位置若しくは名称の変更を行うこと。	
⑤ 教育委員会の組織又は職員の人事に関する基本方針を定めること。	
⑥ 県費負担教職員の人事に関する内申の基本方針を定めること。	1
⑦ 教育長、教育委員会事務局職員及び教育機関の職員の任免を行うこと。	
⑧ 町立小中学校長の人事について内申すること。	
⑨ 職員及び県費負担教職員の研修の基本方針を定めること。	
⑩ 教育委員会所管の附属機関の委員の委嘱若しくは解職又は任免を行うこと。	8
⑪ 職員の懲戒に関すること。	
⑫ 県費負担教職員の懲戒について内申すること。	
⑬ 通学区域の設定又は変更を行うこと。	
⑭ 教科用図書の採択を行うこと。	1
⑮ 教育委員会が当事者となる訴訟、不服申立てその他の争訟に関すること。	
⑯ 指定文化財の指定又はその解除を行うこと。	
報告事項	25
その他	4
合 計	57

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会委員の教育委員会会議への出席以外の主な活動は次のとおりです。

期 日	内 容	場 所
R7. 4. 1	学校教職員辞令交付式	改善センター
R7. 4. 9	中学校入学式	町内中学校
R7. 4. 10	小学校入学式	町内小学校
R7. 5. 21	小山正夫文化スポーツ振興事業認定選考会	教育委員会事務局 仮庁舎 会議室
R7. 6. 18	総合教育会議（第1回）	教育委員会事務局 仮庁舎 会議室
R7. 6. 28	高根沢町中学生海外派遣事業結団式	高根沢町役場 会議室
R7. 7. 16	松谷正光ドリーム事業選考委員会	教育委員会事務局 仮庁舎 会議室
R7. 9. 17	小山正夫文化スポーツ振興基金運営委員会	教育委員会事務局 仮庁舎 会議室
R7. 10. 15	教育委員会視察	大田原市教育委員会
R7. 11. 12	総合教育会議（第2回）	教育委員会事務局 仮庁舎 会議室
R7. 11. 20	学校訪問	阿久津小学校
R7. 12. 6	高根沢町中学生海外派遣事業報告会・解団式	高根沢町役場 会議室
R7. 12. 17	学校訪問	中央小学校
R8. 1. 28	松谷正光ドリーム事業「夢見る授業」	教育委員会事務局 仮庁舎 会議室
R8. 3. 9	中学校卒業式	町内中学校
R8. 3. 19	小学校卒業式	町内小学校
R8. 3. 31	教職員退職辞令交付式	教育委員会事務局 仮庁舎 会議室

3 点検・評価報告書

基本目標 「未来を創る子どもたち」を育てる	
施策1 生きる力の育成	【学校教育課】
■確かな学力の育成（ICT 教育・英語教育の推進） 実施内容 ○ICT 教育の推進 ・児童生徒用のタブレットパソコン 2,243 台を更新しました。これにより通信速度の改善や動作の安定化が図られ、より堅牢で壊れにくくなったことで、授業を止めることのない快適で安全な ICT 学習環境を整備しました。 ・新たに「ベネッセ“ミライシード”のテストパーク」を導入し、CBT（コンピュータ・ベースド・テスト）を活用できる体制を構築しました。更新したタブレットパソコンの快適な動作を活かし、今後は日常的なドリル学習や小テストを通じて、児童生徒の習熟度をきめ細やかに確認し、学力の向上につなげていきます。 ・小学4～6年生向けにAI英会話アプリ「マグナとふしぎの少女」等を継続して活用し、英語専科の授業を中心とした英会話学習において、児童の学習意欲向上を図りました。 ・発達や認知の特性に合わせて学べる学習アプリ「まるぐランド」を継続導入し、特別支援学級における効果的な ICT 教材として活用しました。 ・小中一貫教育情報教育部会において、教員の ICT 指導力向上を目的とした研修等を実施しました。 ・学校を巡回する ICT 支援員が、授業中の補助に加え、タブレットの機能研修や効果的な活用方法の提案を行いました。これを軸に、各校の優れた ICT 活用の実践情報を町全体で共有しました。 ・教職員間のコミュニケーションツールとして新たに「Microsoft Teams」の活用を検証し、各種部会の効率的な実施や、ICT 活用の実践情報を共有しやすい環境の構築を進めました。 ・令和6年度整備した校内の統合ネットワークおよび「Microsoft SharePoint」を継続運用し、情報セキュリティを確保しながら、学校間や教育委員会との情報共有の効率化を図りました。 ○英語教育の充実（ALT・JTE の活用） ・小学校では、学級担任と英語専科教員2名が中心となって授業を進め、JTE2名、ALT2名と連携を図りながら指導にあたりました。 ・中学校では、ALT3名が教材研究に熱心に取り組み、担任と連携しながらティームティーチングの授業を効果的に実施することができました。 ・小中一貫教育の一環として小学校で実施する「国際交流集会」「中学校教員の乗り入れ授業」は児童に大変好評で、事後アンケートでは「中学校での英語学習が楽しみになりましたか」に対して肯定的に答えた児童が93.6%にのびりました。	

○学ぶ意欲を高める学習指導の充実

- ・「学力向上コーディネーター」、「学力向上推進リーダー」、「各校の学習指導主任」が、連携して学力調査問題の分析を行い、課題と成果を明確にした上で学力向上改善プランを作成し、PDCAサイクルを意識した取組が実施されました。
- ・経験の浅い教員等を対象に「授業改善等に向けた授業支援訪問」を実施し、授業参観と授業研究会を通して、教員の学習指導の向上を図りました。また、学力向上推進リーダーと情報交流を図り、年間を通して支援できる体制を作りました。

■学ぶ意欲と自己肯定感・自己有用感の育成

実施内容

○hyper-QU テストの活用

- ・よりよい人間関係づくりを目指して、学校生活の満足度を調査する「hyper-QU」を年2回実施しました。
- ・各学校では、調査結果の分析を行うための研修を実施しました。学級経営の改善や児童生徒の理解と関わり方について職員間で共通認識を図るとともに、対応策についても協議することができました。

○キャリア教育の推進

- ・「キャリア・パスポート」の計画的な蓄積が図られました。また、小学校6年生のキャリアインタレストテストや中学校2年生のマイチャレンジ事業等、発達段階に応じて系統的にキャリア教育を実施することができています。
- ・小学校5年生の「夢の教室」事業については、高根沢町に縁のある人や、地域に住む身近な人等を講師に迎え、講演会やワークショップを実施しました。

■健やかな体の育成

実施内容

○運動遊びプログラム

- ・体を動かす楽しさや心地よさを体感し、運動習慣の動機付けにつなげることを目的として、小学校1、2年生（年2回）と中学校1年生（年1回）を対象に、計45回実施しました。
- ・年度末に各学校にアンケートを実施し、課題と成果をまとめました。「運動が苦手な子ども、とても意欲的に夢中になって活動していました」「様々な内容の運動遊びを教えていただきたい」など、事業内容について好意的な意見が大部分を占めました。

○食育・地産地消の推進

- ・地産地消の取組として、学校給食用食材のうち、野菜穀物類について町内産を積極的に使用しました。県教委調査における地場産物活用割合（金額ベース）は、98.48%で、県内1位でした。

【主な食材】（重量（kg）ベースでの町内産使用率は、59.2%）

【100%】 米、トマト、なめこ、舞茸、きくらげ、さつまいも、なす、
古代米、ブルーベリー

【50%以上】味噌（99%）、ねぎ（58%）、玉ねぎ（92%）、白菜（83%）、
枝豆（58%）

- ・毎月3のつく日（3日、13日、23日、30日）は“かみかみメニュー”として、意識して噛む日としています。
- ・6月・11月の第3週は地産地消ウィークを実施し、なるべく町内産、県内産の食材を使用した献立を実施しています。
- ・9月に町内産「枝豆」を給食に提供しました。
- ・9月に町内産「ブルーベリー」を練り込んだ「ブルーベリーパン」を給食に提供しました。
- ・10月から3月（月1回～3回）各小学校のリクエスト給食を実施しました。
- ・町内産新米については、塩野谷農業協同組合や契約農家の協力をいただき、10月から給食に提供しました。また、令和6年度から、町内産学校給食米として「とちぎの星」と「コシヒカリ」を交互に給食に提供しています。新米に合わせ、11月の給食だよりではお米特集号として生産者の方々を紹介しました。
- ・高根沢ローカルグルメのPRとして「高根沢焼ちゃんぽん」を給食に提供しました。
- ・食物アレルギー等により、代替えやお弁当を持参している児童生徒も食べられる給食として、「ハートカレー」を7月・12月の年2回実施しました。
- ・「お弁当の日」を11月5日に実施し、親子でのお弁当作りを通して、食に関する関心を高めました。
- ・12月はデザートを選ぶことができる「セレクトデザート」を実施しました。
- ・食育・地産地消に関心を持ってもらうため、「食育だより」を作成して児童生徒に配付しました。夏号、冬号、春号の3回の「食育だより」では時期に合った、児童生徒の人気給食レシピを紹介しました。

【後期計画5年間のKPI達成状況】

施策1 生きる力の育成

施策1-1 確かな学力の育成（ICT教育・英語教育の推進）

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
全国学力・学習状況調査の平均正答率（％）	全国平均を上回る	小6国↑	小6国↑	小6国↑	小6国↑	小6国↑
		小6算↑	小6算↑	小6算↑	小6算↑	小6算↑
		中3国↑	中3国↑	中3国↑	中3国↑	中3国↓
		中3数↑	中3数↓	中3数↑	中3数↑	中3数↑

【総括・今後の事業展開】

A L T・J T E・英語専科教員によるチーム指導体制での英語指導や、児童生徒1人1台のタブレットを効果的に活用したI C T教育の実施により、学力の底上げが図られ、指標を概ね達成することができました。

令和8年度からは、A L T配置方法を変更して、更に生きた英語の学習を推進するとともに、教員のI C T指導力の向上に引き続き取り組んでいきます。

施策1-2 学ぶ意欲と自己肯定感・自己有用感の育成

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
子どもたちの学ぶ意欲 「学習に自ら取り組んでいる子」の割合（％）	県平均を上回る	小4 ↑	小4 ↑	小4 ↑	小4 ↓	小4 ↑
		小5 ↑	小5 ↑	小5 ↑	小5 ↓	小5 ↓
		中2 ↓	中2 ↓	中2 ↓	中2 ↓	中2 ↑

※とちぎっ子学習状況調査「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の割合

【総括・今後の事業展開】

指標を概ね達成することができましたが、キャリア教育やhyper-Q U等の取組を、更に児童生徒の自己実現や自己肯定感の育成につなげていくことが求められています。

今後は、小中一貫教育専門部会等において、県学力コーディネーター・町学力向上推進リーダー、学習指導主任等が連携して対応・対策を講じるとともに、これまでの知見を活用して授業改善や学級経営、児童生徒指導に効果的に活用し、学ぶ意欲の向上に取り組んでいきます。

施策１－３ 健やかな体の育成

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
運動習慣調査における 「運動好きな子」の割合 (%)	全国平均を上回る	小5男↓	小5男↓	小5男↑	小5男↓	小5男↓
		小5女↑	小5女↓	小5女↓	小5女↓	小5女↓
		中2男↓	中2男↓	中2男↓	中2男↓	中2男↓
		中2女↑	中2女↑	中2女↑	中2女↓	中2女↓

※全国体力・運動能力、運動習慣等調査「運動が好き（やや好き）」の割合

【総括・今後の事業展開】

指標については、すべての項目において全国平均を下回り、目標を達成することができませんでした。

今後は、現在取り組んでいる「運動遊びプログラム」事業が、継続的な運動習慣につながっていくよう、更に活動や効果の波及に注力していくことにより、運動好きな児童生徒を増やし、「健やかな体の育成」を図っていきます。

外部評価	A	特に良好であった内容	・タブレット端末を全児童生徒分更新するなど、ハード・ソフト両面での充実を図り、より安定した ICT 学習環境を整備したことで、授業での活用がさらに進んだ点が高く評価できます。 ・CBT 対応の「テストパーク」を導入し、個別最適な学びや学力向上につながる環境整備が進んだことは大きな成果です。 ・ALT・JTE・英語専科教員が連携した指導体制により、英語に親しむ機会が充実しています。 ・「中学校での英語学習が楽しみ」と回答した児童が 93.6%に達しており、小中一貫教育の成果が表れていると感じます。 ・KPI では令和 6 年度と比較して、中学校国語は全国平均を下回ったものの、小学校国語・算数及び中学校数学は全国平均を上回っており、学力の維持・向上が図られています。 ・hyper-QU について教職員が結果分析の研修を行い、共通理解のもとで児童生徒支援を進めている点が評価できます。引き続き、学級満足度の高い学級経営に努め、いじめ・不登校を生まないことに活かしていただきたいと思います。 ・キャリア・パスポートを活用し、小中一貫したキャリア教育を体系的に実施していることは将来を見据えた取組となっています。 ・令和 6 年度と比較し、小学 4 年生と中学 2 年生で改善が見られ、「学ぶ意欲向上」への取組の成果が現れていると考えます。 ・学校から「運動が苦手な子も夢中になって活動していた」など好意的な意見が多く寄せられており、運動遊びプログラムの有効性がうかがえます。 ・学校給食では地場産物活用割合 98.48%で県内 1 位となり、地産地消の推進が非常に充実しています。 ・「かみかみメニュー」や地産地消ウイーク、お弁当の日など、食への関心を高める取組が多面的に実施されていました。
		その他意見	・ICT 機器の更新効果を学力向上へさらに結び付けるため、学習履歴の分析や個別支援を充実させてほしいです。 ・生成 AI 活用時代を迎えていることから、文部科学省の「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン」を共有し、ICT 支援員による教員研修等を充実させ、児童生徒に生成 AI を活用できる力をつけていくことを期待します。 ・中学校国語が全国平均を下回った結果については、要因分析を丁寧に行い改善策に活かしていただきたいと思います。

		・英語教育の推進では、高根沢町学校教育基本計画（Ｒ８年度～Ｒ１２年度）において、小学校１年生から中学校３年生までの学年別到達目標が「Can-do」形式で作成され共有されていますので、活用が望まれます。 ・「学習に自ら取り組んでいる子」の割合では、小学５年生は引き続き県平均を下回る結果となっているため、学年特有の課題を分析する必要があります。 ・自己肯定感や自己有用感は数値化が難しいため、アンケートだけでなく児童生徒の実際の行動や変容も把握してほしいです。 ・キャリア教育の成果が学ぶ意欲に結び付くよう、地域人材との交流機会をさらに増やしてほしいと思います。 ・不登校傾向や悩みを抱える児童生徒に対しても、自己有用感を実感できる活動機会を確保していただきたいです。 ・運動習慣の KPI では令和 6 年度に続き全項目で全国平均を下回っており、運動習慣の定着に向けたさらなる工夫が必要です。 ・運動遊びプログラムを単発の体験で終わらせず、日常生活や家庭での運動習慣につなげる仕組みづくりを期待します。 ・学校と連携し、体育科、昼休みの過ごし方等に運動習慣の定着に向けた取組が可能か検討していただきたいです。各学校の教育目標の努力点・具体策に明示するなどの工夫が考えられます。 ・親子給食の機会などを設けるなど、保護者から給食の内容面について率直な意見を得る方策を工夫し、児童生徒にとってさらに魅力ある給食の提供を期待します。 ・食育は大きな成果を上げているため、今後も地域農業との連携を継続し、郷土愛の醸成につなげていただきたいと思います。 ・運動面と食育面を一体的に捉え、子どもたちの健康づくりを総合的に推進してほしいです。

■教育環境支援の充実

実施内容

○特別支援教育の充実

- ・児童生徒が個々の可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加できる資質や能力を身に付けていくため、特別な支援を要する児童生徒の情報交換を密にし、保護者、関係機関、小中学校との協力体制を整え、指導・支援を行いました。小中一貫教育の特別支援教育部会においては、支援を要する小学校児童の中学校への引き継ぎを行って、切れ目のない指導・支援に努めました。
- ・特別な支援を要する児童生徒への対応として、各小学校に「個別の支援教室」を設置し、取り出しによる学習支援を行いました。また、特別支援学級を含む指導困難な状況が見られる学級に学校支援員を配置し、児童生徒指導及び特別支援教育の充実を図りました。
- ・中央小学校では、特別支援学級入級生徒の増加に伴い、令和 8 年度からの自閉症・情緒障害特別支援学級新設に向けて準備を進めました。
- ・阿久津小学校では、特別な支援を要する児童生徒の増加に伴い、令和 8 年度からの通級指導教室（自閉症・情緒障害等）新設に向けて準備を進めました。
- ・未就学児の就学については、幼稚園・保育園、町保健センター及び関係機関と連携し、保護者の心情に配慮しながら、早期からの教育相談を丁寧に進めました。

○教育相談支援・不登校支援の充実

- ・学校での支援、家庭での支援、町での支援、各種相談窓口などをまとめたリーフレット「多様な学びの場や仕組みがあります」を作成し、学校、保護者への周知・情報提供を図りました。
- ・教育相談支援として、町 SC 3 名と町 SSW 1 名を配置し、各学校の関係教職員と連絡を密にしながら、児童生徒や保護者の状況について情報を共有することができました。また、中学校区に配置された県 SC・県 SSW からも、児童生徒支援並びに教職員への指導助言の機会を設けることができました。

◇令和 7 年度の相談件数

町 SC の相談件数 : 434 件（学校教育課と小学校を兼務する SC 1 名）

町 SC の相談件数 : 932 件（小学校勤務のみの SC 2 名の合計）

町 SSW の相談件数 : 69 件

- ・不登校対策では、フリースペースひよこの家において、様々な体験活動や教育相談活動を通して一人一人に応じた支援を実施しました。また、月に 1 回のケース会議を設けて町 SSW や指導主事と情報共有を密に図り、通級している児童生徒の成長や課題について協議することで、適切な支援につなげることができました。

◇令和 8 年 3 月時点の通級児童生徒数

中学生 10 名（1 年生 3 名、2 年生 3 名、3 年生 4 名）

小学生 2 名（2 年生 1 名、3 年生 1 名）

- ・家庭訪問型学習支援事業「学びの出前教室」では、学習支援と併せて相談支援を行うことにより、ひきこもり傾向の児童生徒に寄り添った丁寧な支援を実施しました。

◇令和7年度の実績

対象児童生徒：13名

実施回数：のべ369回

○経済的に不安定な家庭に対する支援

- ・本町の就学援助は、平成27年度から、認定基準となる収入要件の倍率を生活保護基準の1.3倍から1.5倍に拡大し、受給範囲を広げるにより支援を充実させています。準要保護認定者は、平成28年度末から124件、109件（H29）、125件（H30）、134件（R1）、145件（R2）、133件（R3）、128件（R4）、144件（R5）、138件（R6）、124件（R7）と推移しています。
- ・令和5年度から、就学援助の認定期間を「7月から翌年6月まで」に変更し、直近の収入実態を反映した認定を行っています。また、国の基準単価の改定に準じて就学援助費（小学校の新入生徒学用品費）の支給額の引き上げを行いました。（57,060円→64,300円）
- ・町独自の子育て支援として、令和4年4月から開始した学校給食費の減免措置（小中学校：月額2,500円）を継続して実施しました。さらに、他市町に先駆けて令和7年10月からは給食費の全額（小学校：5,300円、中学校：6,300円）を減免し、完全無償化しました。これにより、児童生徒1,942名の保護者に対して年間総額89,162,100円の減免を行いました。また、アレルギー等により学校給食を停止しているなどの理由で減免対象外となった児童生徒19名の保護者に対しても、減免相当分として総額716,500円の助成を実施しました。

■安心・安全な学校づくり

実施内容

○通学安全体制の整備

- ・小学校では、登校班での歩き方指導やスクールバスの乗降指導、教職員の下校班への付き添いを行いました。
- ・中学校では、スタントマンの実演による交通安全指導教室、教職員による交通マナー指導や登下校時の立哨指導を行いました。
- ・交通指導員やスクールガード、青パト隊など地域の協力をいただきながら、児童が安全に登下校できるように見守りや声掛けを継続して行いました。
- ・「通学路安全プログラム」では、小中学校・地域安全課・都市整備課・さくら警察署・県矢板土木事務所等と連携して通学路の合同点検を実施し、通学路の危険箇所について、停止線の引き直しや電柱幕の設置などの安全対策を図りました。（合同点検実施日：令和7年9月12日）

○学校教育施設の整備

- ・阿久津中学校校舎の長寿命化改修工事に伴う設計単価の入替業務や確認申請手続きを実施しました。(事業費 1,243 千円)
また、老朽化した施設や設備の修繕工事等を実施しました。(事業費 44,342 千円)
- ・熱中症対策として、町内小学校の体育館に大型の冷風機を導入しました。(阿久津小体育館 2 台、西小体育館 2 台、中央小体育館 1 台、上高根沢小体育館 1 台、北小体育館 1 台 計 7 台) (事業費 5,151 千円)

■地域とともにある学校づくり

実施内容

○コミュニティスクール「みんなの学校」の推進

- ・令和元年度に開始された、高根沢町版コミュニティスクール「みんなの学校」は、町内全ての小中学校において、学校運営協議会と学校支援地域本部の 2 つの組織を両輪とする連携体制により実践を進めています。令和 3 年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響等により、各学校における学校運営協議会の会議はそれぞれ 1 回程度の開催に留まり十分な活動を行うことができませんでしたが、令和 4 年度以降は、各校ごとに 3 回程度開催しています。

学校と地域の人々が学校の目標やビジョンを共有し、共に子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指すため、特に、学校・地域でどのような子どもたちを育てていくのか、何を目指していくのか、関係者が当事者意識をもちながら「熟議」ができるよう、場を設定しています。

- ・学校支援地域本部については、学校のニーズに応じた地域人材の活用や、学校支援ボランティアの充実が図れるよう各校で継続して取り組みました。

【後期計画 5 年間の KPI 達成状況】

施策 2 安心して学習できる環境づくりの推進

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
学習支援事業を利用している不登校児童生徒の割合 (%)	100%	43.75	38.03	34.93	26.19	22.11

※ひよこの家通級人数+学習支援事業利用人数/不登校児童生徒(問題行動調査「不登校数」)

【総括・今後の事業展開】

指標については、学習支援事業利用は概ね同じ利用人数を維持できたものの、全体の不登校児童生徒数が大きく増加したことにより、「令和 3 年度: 43.75%」から「令和 7 年度: 22.11%」に利用割合が低下しました。

今後も引き続き、「フリースペースひよこの家」や「校内教育支援センター」の更なる活用に取り組み、誰一人取り残すことのない、すべての児童生徒が等しく学ぶ機会を確保できる環境づくりに取り組んでいきます。

外部評価	A	特に良好であった内容	・特別な支援を要する児童生徒への支援では、多様な支援ニーズに対応できるよう人の配置や場所の確保に努めていることが評価できます。さらなる充実のため、学校現場の声をよく聞いていく必要があります。 ・町独自にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や保護者への相談支援体制を充実させています。 ・「フリースペースひよこの家」や「学びの出前教室」により、不登校児童生徒への継続的な支援が行われています。 ・特別支援教育では、小中学校間で情報共有を図り、切れ目のない支援体制づくりに取り組んでいます。 ・学校給食費の完全無償化は保護者負担軽減に大きく寄与する先進的な取組として高く評価できます。 ・交通指導員の適切な配置など、登下校の安全体制の充実が図られていることは評価できます。 ・学校施設の修繕や体育館への冷風機設置など、学習環境や熱中症対策が着実に進められています。 ・コミュニティスクールの取組を通して、地域と学校との連携が継続的に推進されています。
		その他意見	・不登校児童生徒数の増加に対し、多様な学びの場のさらなる周知と活用促進が必要です。 ・学校だけでなく家庭や関係機関との連携のさらなる強化が望まれます。 ・本年4月から県総合教育センターに教育支援センターが開設されました。どこともつながっていない児童生徒を中心に、保護者と連携・協働できるよう連携を図っていただきたいです。 ・R6年度 不登校児童生徒数は、中学校では全国6.80%に対し、町8.89%と特に中学校の不登校数が増加している現状から、不登校の予防に向けては、県総合教育センターで作成した「欠席が気になる児童生徒への指導のヒント～不登校の初期対応～」として、取組例を紹介したものがありませんので、職員研修等で活用し、よりよい対応がされていくことを期待します。 ・学校運協議会における熟議については、一般町民に対する公表の観点からどんな内容について行われたがわかるような記載をご検討ください。

基本目標 「生涯学習・文化・スポーツ」を振興する

施策1 身近で学べる生涯学習環境の充実

【生涯学習課】

■青少年の健全育成事業

子どもたちへの体験活動・学びの場を提供する団体・個人を支援し、多種多様な体験・学びをできるようにしました。また、熱中症対策を講じながら、安全・安心な環境を整えて実施することができました。

◇「夏休み！たんたん探検隊」

講座数：42 参加人数：のべ 459 人

◇「夢見る授業」

日時：令和8年1月28日（水）10：00～11：30

会場：各中学校（オンライン形式）

対象：町立中学校第2学年生徒 約 230 人

講師：工藤公康氏 テーマ：「夢を叶える力」

◇「小山文化スポーツ振興事業」

※小山正夫文化スポーツ賞

- ・スポーツ分野：1人（阿久津中学校3年）
- ・文化分野：1人（西小学校3年）

※支援団体数：7団体

- ・熱気球ふれあい事業（熱気球ふれあい事業実行委員会）
- ・わらべ歌、童謡ボランティア（高根沢町童謡をうたう会「いつでも LaLaLa」）
- ・高根沢町青少年武道大会（高根沢町青少年武道大会実行委員会）
- ・演劇で遊ぼう。（高根沢町に演劇の文化を作る会）
- ・あそび～の LABO（あそびのサークル あそび～の）
- ・なまず祭り（なまず祭り実行委員会）
- ・冒険あそび場 こもれびの森プレーパークで遊ぼう！！（冒険あそび場『こもれびの森プレーパーク』）

◇「高根沢リーダースクラブ（中高生活動支援）」

構成員：29人（中学生12人、高校生17人）

活動数：定例会12回

研修会：4回（バルーンアート、レクリエーション、県、地区）

主催：2回（TLC ふれあいタイム・バルーンアート）

ボランティア活動：18回

◇「令和8年二十歳の集い」

日時：令和8年1月3日（土）式典 11：00～12：00

会場：北高根沢中学校体育館

出席者：229人（阿中卒業者 156人 北中卒業者 68人 町外中卒業者 5人）

○学校支援地域本部の推進

町内小中学校にて、学校支援地域本部の開催

町内各小中学校「地域コンシェルジュ」合計 21人

「塩谷南那須地区地域コーディネーター養成研修兼地域コーディネーター交流会」

日時：令和8年6月23日（火）14：00～16：00

会場：塩谷庁舎

・町内地域コンシェルジュの方々が3人参加しました。

■学びの事業

○家庭教育の支援

オピニオンリーダーたかね会の活動支援を行いました。また、親学習プログラムを実施し、ワークを通して、「家庭教育についての不安感を取り除き、保護者同士の関りをつくる」という目標を達成することができました。

「親学習プログラムの実施」

令和7年度のテーマ：「スマホ・テレビ・ゲームとのしあわせな付き合い方」

9月29日（月）会議室 参加者 7人（第1回家庭教育に関する情報交換会）

10月17日（金）会議室 参加者 6人（第2回家庭教育に関する情報交換会）

10月24日（金）中央小・北小 参加者 31人（親プログラム修了生6人）

10月31日（金）東小・上高小 参加者 19人（親プログラム修了生5人）

○ライフステージに応じた学びの支援

各年代のニーズに合った知識の習得や生きがいづくりをサポートするため、様々な学習内容を計画し、公民館講座等を開催しました。

「いきいき教室」

日時：5月・8月・12月・2月 10：00～11：30

会場：宝積寺タウンセンター（参加者：のべ101人）

「たかねざわサイエンス・ラボ」

日時：6月・11月・1月・2月 10：00～11：30

会場：仁井田地区コミュニティセンター（参加者：のべ46人）

「みんなの学び場」

- ・デッサン教室

日時：8月11日（月・祝）13：30～16：00

場所：改善センター（参加者：7人）

- ・安心安全スマホ教室（シニア向け）

日時：12月・1月 10：00～11：30

会場：改善センター（参加者：のべ29人）

「たんたんサタデースクール」

- ・たんたんクッキング！

日時：8月2日（土）8：30～12：30

会場：高根沢消防署、栃木県防災館（参加者：小学生親子17人）

- ・たんたんクッキング！

日時：11月22日（土）10：00～12：30

会場：図書館中央館（参加者：小学生親子8組 19人）

- ・親子eスポーツ

日時：2月28日（土）13：00～14：30

会場：上高根沢地区コミュニティセンター（参加者：小学生親子9組 18人）

○学びの情報発信

計画的に生涯学習情報誌「たかネット」や「たんたんだより」を発行したり、町HPや図書館のSNSにイベントを掲載したりするなど、様々な情報を発信することができました。

- ・「たかネット」

発行部数：6,600部

配布方法：町内の新聞折込

- ・「生涯学習情報誌たんたんだより」：年5回発行

- ・広報たかねざわ：毎月掲載

- ・町HP記事更新：147回

（生涯学習：93回、文化・施設：25回、スポーツ：29回）

- ・町図書館のFacebook、Twitter、Instagram：随時

■図書館事業

○図書館利用者の促進

『第二期 高根沢町子ども読書活動推進計画』を基に、町図書館、各学校、行政の役割を明確化して活動に取り組みました。また、町図書館では年間を通してサービスの向上を図るための研修を実施しました。

利用者：57,964人

※中央館：42,565人、仁井田：8,505人、上高：6,894人

○図書館情報センターの活用

図書館の事業を含む町全体の情報発信をHPにて適宜掲載しました。さらに、新たにFacebook、Twitter、InstagramなどのSNSを活用した情報発信を進めました。

【後期計画5年間のKPI達成状況】

施策1 身近で学べる生涯学習環境の充実

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
町民一人あたりの図書貸出冊数の県内順位	1位	1位	1位	1位	1位	1位

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
生涯続けられる趣味や学びたいことを持っている人の割合	令和3年度調査結果から上昇	-%	83%	77%	82%	79%

【総括・今後の事業展開】

図書館事業では、学校や地域との連携を進め、幅広い世代が本に触れられる環境づくりに努めた結果、貸出冊数の高い水準を維持できました。

県内では1位であり、継続しておりますので、今後も引き続き、図書環境を整えながら推進していきます。

また、青少年向けの「たんたん探検隊」等の活動や基金を活用した学習企画、高齢者向け教室など、年代に応じた学びの場を整え、住民の生涯学習への満足度向上に寄与することができ、約8割の状況を継続しております。

いずれも、地域の実情を踏まえながら継続的に改善を図ってきた成果であると考えておりますので、引き続き対応していきます。

外部評価	評価 A	特に良好であった内容	・図書貸出冊数は5年連続県内1位を維持しており、図書館サービスの充実が図られています。 ・「夏休み！たんたん探検隊」や「夢見る授業」など、青少年が多様な体験活動を行える機会が確保されています。熱中症対策などの安全に配慮しながら、さらに子ども達が楽しめる活動の充実を希望します。 ・「みんなの学び場」「生き生き教室」「たんたんサタデースクール」など、高齢者から子どもまで幅広い世代を対象に、多様な講座や学習機会を提供しています。 ・SNSやホームページなどを積極的に活用し、学習情報の発信に努めています。
		その他意見	・参加者が固定化しないよう新規参加者を取り込む工夫を期待します。 ・デジタル活用が進む一方で、対面による交流や研修の機会も継続して充実させてほしいです。 ・若年層の学習ニーズ把握と参加促進に取り組んでいただきたいです。 ・様々な実施した事業については、実施日、参加人数だけでなく、実施の内容までわかるような記載を検討してください。

■地域文化活動推進事業

○地域文化活動の推進

町内で教室や体験学習などの文化活動をしている個人・団体が、作品展示や活動発表をする機会として文化祭（展示部門・大会部門）を開催しました。

「第47回高根沢町文化祭」

開催日：11月1日（土）・2日（日）

会場：仁井田体育館、宝積寺タウンセンター、歴史民俗資料館

参加者：（作品展示）作品数1,058展 出展者数835人

（大会）出場者29人

■歴史民俗資料館事業

○歴史民俗資料館の活用

高根沢町にゆかりのある芸術家や産業に係る企画展や、栃木県立博物館と連携した夏休み企画展など、年間10回の企画展及び6回のイベントを開催しました。

「歴史民俗資料館企画展」

開催数：10回

- ・全日本写真連盟第41回「日本の自然」写真コンテスト入賞作品巡回展
- ・泳げ！こいのぼり
- ・古代人形展
- ・夏休み企画展「きれいな鉱物教室」
- ・Honda Exhibition
- ・木版画展
- ・みんなの年賀状展
- ・ひょうたんアート作品展
- ・ひなまつり展
- ・中学校卒業記念作品展

年間来館者数：7,104人

「歴史民俗資料館イベント」

開催数：6回

- （縄文道場・昔のあそびとぼうじぼ作り体験教室・御料牧場見学会
- ・本屋でコンサート・年賀状のための木版画教室・しめ縄教室）

参加者：合計171人

■文化財事業

○文化財の保護活動

子どもたちに町の文化や歴史について理解を深めてもらい、文化財を社会科等の授業で活用できるよう、小学生にも分かりやすい表記で文化財を紹介する「子ども向けホームページ」を公開し、社会科見学時にチラシを掲示して案内しました。

文化財の指定 件数：0件

子ども向けホームページの整備・公開

- ・文化財の基本情報の整理
- ・県指定文化財のホームページ公開（6件）、町指定文化財のホームページ公開（46件）

【後期計画5年間のKPI達成状況】

施策2 文化・歴史を活用した郷土愛の醸成

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
文化財に関する子ども向けホームページの整備率 (町ホームページの更新)	100%	20%	45%	70%	100%	100%

【総括・今後の事業展開】

指標のとおり、「子ども向けホームページ」を作成しました。

文化財に関する解説をわかりやすく読むことができるため、ターゲットに向け、社会科見学などの機会を通じて郷土資源・文化財について効果的に周知・案内を図ることができました。

今後も文化・歴史を身近に感じてもらいながら、周知・案内を工夫して、継続的に郷土愛の醸成に繋がる活動に努めていきます。

外部評価	評定	特に良好であった内容	・子ども向け文化財ホームページ整備率 100%を達成し、計画目標を達成しています。 ・歴史民俗資料館で年間 10 回の企画展を開催し、多くの来館者に郷土文化に触れる機会を提供しています。また、看板表示やチラシなどにより、効果的な周知が図られています。 ・小学生にも分かりやすい内容で文化財を紹介し、地域文化への理解促進を図っています。 ・文化祭では多くの町民が参加し、文化活動の発表の場として機能しており、文化活動に関わるやりがい等の創出に寄与しています。
		その他意見	・学校と連携・協働し、子ども向けホームページの学校授業での活用をさらに進めてほしいです。 ・若い世代が文化財や歴史に興味を持てるよう、体験型事業の充実を図るなど、引き続き工夫しながら展開していくことを期待します。 ・SNS 等を活用した情報発信の強化も有効と考えます。
	A		

■スポーツ教室・講座開催事業

町民の心身両面にわたる健康・体力の保持・増進を図るため、各種教室を開催しました。

- ・子どもペタンク教室 参加者 9 人
- ・子どもカローリング教室 参加者 3 人
- ・ペタンク出前講座 開催 2 回 参加者合計 32 人
- ・カローリング出前講座 参加者 51 名

◇ラジオ体操普及事業

- ・「ラジオ体操講習会」

開催日：令和 7 年 10 月 24 日（金）

（一財）簡易保険加入者協会よりラジオ体操講師派遣 参加者：28 人

- ・配布したチラシで 30 日間の取組記録ができるようにしました。
- ・「NIKO♡NIKO 健康ポイント事業」（20 歳から 64 歳対象）及び元気あっぷポイント事業（65 歳以上）の対象事業として、ラジオ体操記録提示、ウォーキング大会参加者へのポイント付与を行いました。
- ・町主催のスポーツイベントの準備運動として、ラジオ体操を積極的に実施しました。

■スポーツイベント開催事業

◇「いちご一会とちぎ国体記念大会」として以下の大会を開催しました。

- ・グラウンド・ゴルフ大会（町民広場）
開催日：令和 7 年 5 月 13 日（火） 参加者：52 人
- ・ペタンク交流大会（麒麟運動場）
開催日：令和 7 年 9 月 21 日（日） 参加者：53 人
- ・カローリング大会（麒麟体育館）
開催日：令和 7 年 10 月 5 日（日） 参加者：54 人

◇体力づくりへの興味関心を高めるため、ウォーキング大会を開催しました。

- ・とちまるゴルフクラブ⇄鬼怒グリーンパーク（約 5 km）
開催日：令和 7 年 5 月 18 日（日） 参加者：47 人
- ・道の駅たかねざわ 元気あっぷむら⇄大森果樹園（約 7 km）
開催日：令和 7 年 10 月 11 日（日） 参加者：71 人
- ・道の駅たかねざわ 元気あっぷむら⇄大森果樹園（約 12 km）
開催日：令和 7 年 11 月 30 日（日） 参加者：48 人

◇オンラインアプリを活用したスポーツイベントに参加しました。

「オクトーバー・ラン&ウォーク」

開催期間：10月1日～31日 参加者：159人

◇「第28回高根沢町スポーツ・レクリエーション大会」

開催日：令和7年9月27日（土）

ニュースポーツ・レクリエーションゲーム体験、体力測定

参加者：のべ607人

◇「高根沢町元気あっぷハーフマラソン大会（日本陸連公認）兼長距離走大会」

高根沢町役場新庁舎等建設に向けた解体工事に伴い、当面の間、開催を休止している。

■各種団体支援事業

○各種団体の支援

町内で活動する団体が主体的に活動及び運営できるよう支援し、町民のスポーツの競技力及び心身の向上と、指導者の資質の向上を図りました。

町スポーツ協会 部員人数 358人

町スポーツ少年団 団員数 151人、指導者数 37人

総合型地域スポーツクラブ

・元気UPスポーツクラブ 270人

・HOKUTO. S. C 46人

【後期計画5年間のKPI達成状況】

施策3 スポーツに親しむ機会と環境の創出

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
ラジオ体操を取り入れたイベント等の実施回数	10回	5回	5回	13回	14回	12回

【総括・今後の事業展開】

子どもから高齢者まで幅広い年代に広く普及し、町民の心身両面にわたる健康・体力の保持・促進を図っていくため、実施する講座・教室、出前講座、スポーツイベントにおいて可能な限り準備体操としてラジオ体操を取り入れ、目標数の10回を超える結果となりました。

また、健康づくりポイント事業との継続的な連携や「高根沢町ラジオ体操の日」の認知度の向上を図り、継続的にラジオ体操への取組を推進しました。

今後も引き続き、実施する講座・教室、出前講座、スポーツイベント等において、ラジオ体操の普及に取り組んでいきます。

外部評価	評価	特に良好であった内容	・ラジオ体操を取り入れた事業は目標の「10 回」を上回る「12 回」実施され、KPI を達成しています。 ・ウォーキング大会やニュースポーツ大会など、幅広い世代が参加できる事業を展開しています。 ・オンラインアプリを活用した健康づくり事業など、新しい手法も積極的に取り入れています。 ・スポーツ協会やスポーツ少年団への支援を継続し、地域スポーツ活動を支えています。
	A	その他意見	・参加者の固定化を防ぎ、若年層の参加促進に向けた工夫が必要です。 ・健康づくりポイント事業との連携をさらに推進していくことを期待します。 ・気軽に参加できる運動機会の拡充を期待します。 ・ニュースポーツの推進に向けて、学校と連携し、体育科やクラブ活動等で計画・実施できるよう協働を期待します。

■男女共同参画推進事業

○男女共同参画の推進

男女共同参画と防災をテーマに講演会「みんなのつどい」を開催しました。公民館講座として「とも家事講座」を年4回実施し、女性が担うことの多い家事を男性が習得して分担することで、女性の就業促進へ繋げられるよう取り組みました。

「講演会（みんなのつどい 2026）」

開催日：2月14日（土）14：00～15：30

会 場：宝積寺タウンセンター

講 師：倉松 俊弘 氏（薬王寺住職）

テーマ：「変化を恐れない生き方」～すべてを受け入れて今を生きる～

参加者：50人

「公民館講座 とも家事講座」 開催数：料理教室4回 参加者：39人

■結婚活動推進事業

○婚活イベントの開催

在住、在勤の男性と県内外から募集した女性との出会いの場を提供し、結婚・定住・永住のきっかけをつくるため、婚活イベントを開催しました。

「たんたん婚活たかねざわ」

開催日：10月11日（土）

会 場：道の駅たかねざわ 元気あっぷむら

参加者：男性15人、女性11人（定員各15名程度）カップル成立数8組

【後期計画5年間のKPI達成状況】

施策 4 女性が活躍する社会の実現と結婚活動の推進

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
婚姻率の県内順位	1位	1位	2位	2位	1位	1位

【総括・今後の事業展開】

少子化対策や地域活性化の観点から、高根沢在住・在勤の男性と県内外から募集した女性との出会いの場を提供し、結婚・定住・永住のきっかけを作るため婚活イベントを実施し、結婚を希望する方々の一助となりました。（R3中止、R4～R7の4年間で、25組）

婚姻率は県内1位であります。

今後の事業展開として、結婚活動の推進事業は町企画課に所管換えとなりますが、生涯学習課としては、男女共同参画の推進に力を入れていきます。

外部評価	評価	特に良好であった内容	・婚姻率県内1位を維持しており、成果指標を達成しています。 ・婚活イベントでは高いカップル成立率となり、結婚支援に一定の成果が見られます。 ・男女共同参画をテーマとした講演会や「とも家事講座」を開催し、意識啓発に取り組んでいます。理解促進につながる大変すばらしい事業と評価します。 ・家事分担や女性活躍を促進する取組が継続的に実施されています。
	A	その他意見	・男女共同参画への理解促進をさらに幅広い世代へ広げることが期待します。 ・災害時の避難所での対応等においても、女性の視点での見直しが必要です。 ・婚活支援の成果を継続できるよう、次年度からの企画課への引き継ぎと連携を期待します。 ・若年層への啓発活動の充実も必要と考えます。

基本目標 「安心して産み、子育てができるまち」をつくる

施策1 安心して産み、子育てできる応援体制の充実

【こどもみらい課】

■子育ての経済的負担の軽減

実施内容

○妊娠・出産の不安の解消

不妊治療を受けている方を対象に「不妊治療費助成」を、妊産婦を対象に「妊産婦医療費助成」を行っています。

(令和7年度実不妊治療費助成 15件 2,152,016円、妊産婦医療費助成 1,224件)

また、安心して出産・子育てができる環境を整備するために、妊娠した方・子どもを養育する方に「妊婦のための支援給付金」(妊娠5万円・出産5万円)を交付しています。

(令和7年度妊娠 166人・新生児分 164人)

○子育て家庭等に対する各種給付及び助成事業

児童手当、遺児手当といった各種手当の給付と、こども医療費、ひとり親家庭医療費といった各種医療費の助成を行っています。

なお、児童手当については、国の制度改正に伴い所得制限を撤廃し、対象を中学生までから18歳までに拡大するほか給付額が増額となるなど大きく拡充されました。

○幼児教育・保育の無償化等(副食費の減免)

保育園・幼稚園では副食費(おかず等)月額4,900円を徴収しますが、令和7年4月からは、物価高騰に伴う町独自の子育て応援として、2,500円の減免を実施し、さらに、10月からは全児童の副食費を無償としました。

(町独自の減免人数 保育園・認定こども園 347人、幼稚園 152人)

※後期計画のKPIは健康福祉課 保健センター分

外部 評価	評価	特に良好であった内容	・「子ども・子育て会議」を経て、「第三期高根沢町子ども・子育て支援事業計画（R7年度～R11年度）」が丁寧に策定されている点が大変評価できます。 ・事業計画の基本視点では、国が目指している「ウェルビーイング」の観点を踏まえて作成されている点が高く評価できます。 ・不妊治療費助成や妊産婦医療費助成など、妊娠・出産期から切れ目ない支援が行われています。 ・妊婦のための支援給付金の支給により、経済的不安の軽減に努めています。 ・児童手当制度改正への適切な対応が図られています。 ・保育施設における副食費無償化は子育て世帯支援として高く評価できます。
		A その他意見	・支援制度の周知をさらに工夫していかれることを期待します。 ・子ども用のオムツ補助を検討してはいかがでしょうか。 ・妊娠期から子育て期まで継続した伴走支援を期待します。 ・若い世代が利用しやすいよう、SNSなど情報発信方法を工夫していただきたいです。

■子育て支援に関する相談

実施内容

○こども家庭センターの運用

こどもみらい課と保健センターが連携しながら全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う体制を整えたことから、特に支援が必要な家庭に対して、保健師・保育士が育児に関する不安や悩みに寄り添い、また、関係機関と連携しながら対応することができました。

○ファミリー・サポート・センター事業

子育ての手伝いをしてほしい人と子育てのお手伝いをしたい人、そんな気持ちを持った方が会員になり、子育ての相互支援を行っています。子育て支援センターれんげそうへの参加者に積極的に呼びかけたことから、会員数を増やすことができました。

(提供会員 29 人、利用会員 136 人、両方会員 14 人、合計 179 人：令和 8 年 3 月末)

(活動件数 65 件)

○出産・子育て支援オンライン化事業

母子手帳アプリ「NIKOのNIKO 子育てアプリ」(母子モ)を活用し、各種健診や育児相談などのお知らせ通知や子どものフッ素塗布のオンライン予約のほか子育て支援の情報を積極的に発信しました。

(令和 8 年 3 月末アプリ登録ユーザー数 1,056 人)

【後期計画 5 年間の KPI 達成状況】(健康福祉課 保健センター分を除く)

施策 2 子育て相談体制と情報発信力の強化

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
ファミリーサポートセンターの会員数	170 人	124 人	143 人	160 人	172 人	179 人

【総括・今後の事業展開】

指標については目標を達成することができ、少しでも地域の中で楽しく子育てしたい家庭の一助となるための体制整備が少しずつ進んできたと捉えています。会員数の増加は、地域の中で子育てができる環境が醸成し始めていることと考えられます。

今後は、子育て支援センターの参加者や母子手帳アプリ等を活用して積極的に周知し、引き続き子育て家庭がお互い様の関係で相互支援を充実させていきます。

外部評価	評価	特に良好であった内容	・ファミリーサポートセンター会員数は「179人」となり、目標値「170人」を達成しています。 ・こども家庭センターが中心となり、妊産婦や子育て世帯への相談支援体制を整備しています。 ・「母子手帳アプリ」の活用により、子育て情報を効果的に発信しています。 ・こども家庭センター、ファミリーサポートセンターによる支援体制の構築により、地域で支え合う子育て環境づくりが着実に進められています。
	A	その他意見	・ファミリーサポートセンター利用機会のさらなる拡大を期待します。 ・アプリ登録者の増加と利用促進に向けた周知を工夫し継続してほしいです。 ・子育て世代の孤立防止に向けた対面での相談機会も大切にしていきたいです。

■子育て支援サービスの充実

実施内容

○高根沢第二幼稚園整備事業

令和6～7年度までの2か年事業として高根沢第二幼稚園の新しい園舎の建設に係る整備補助を実施したことで、保育園部分を追加した「幼保連携型認定こども園たかねざわ幼稚園」が令和8年4月から開園できました。

(定員：幼稚園 159 人、保育園児 64 人)

○学童保育所指定管理委託事業

児童数は減少しているものの、学童保育を利用する児童は依然として多い状況ですが、各小学校の教室等を利活用し、学校と児童の情報を共有しながら円滑に実施することができました。なお、阿久津小学校は学童保育室が離れた場所にあることから、学校の協力により夏休み期間は特別に会議室を借りて円滑な保育を実施することができました。

(令和8年4月在籍児童 409 人)

【後期計画5年間のKPI達成状況】(健康福祉課 保健センター分を除く)

施策3 幼児期教育・保育ニーズへの対応

KPI 成果指標	目標	R3	R4	R5	R6	R7
年度当初の待機児童数	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

【総括・今後の事業展開】

たかねざわ幼稚園整備により幼稚園児だけでなく、新たに保育園児を受け入れることができるようになったことから、公立保育園の集約化にもつなげることができました。

また、学童保育所については、利用児童数が増加傾向にあるが、小学校の協力及び指定管理者との連携により円滑に学童保育を実施することができました。

今後は、児童数は減少しているものの、学童保育の利用児童数は増加傾向にあるため、さらに利用児童数が増加する場合は保育室の確保が課題です。そのため、陽だまり保育園が新たに学童保育施設を整備することから、国の補助事業を活用して、整備費用の補助を行います。

また、学校規模適正化基本計画に伴う小学校の統合により、学童保育室が不足する可能性があるため、保育室の整備を計画するなど、待機児童が出ないよう量の確保対策を進めていきます。

外部評価	評価	特に良好であった内容	・待機児童数ゼロを継続し、目標を達成しています。 ・認定こども園の整備により、保育ニーズへの対応強化が図られています。 ・学童保育についても、学校や指定管理者と連携が図られ、円滑な運営が行われています。 ・児童数減少下でも保育需要を見据えた計画的な施設整備を進めています。
	A	その他意見	・学童保育利用者増加に対応した施設確保を着実に進めることを期待します。 ・学校統合後を見据えた長期的な受入体制の検討・計画の策定を期待します。 ・乳幼児の定期健診時などに保護者ニーズを把握しながら、柔軟な保育サービスの充実を図っていただきたいです。

4 外部評価

(1) 点検・評価委員

氏 名	役 職
鈴木 厚 子	元小学校長
北 原 博 司	元小学校長

(2) 聴取日等

令和8年8月3日（月） 場所：高根沢町教育委員会（仮庁舎）会議室

(3) 評価のまとめ

◇点検・評価報告書

学校教育課 【評価判定：A】
ア 特に良好であった内容 KPI では令和6年度と比較して、中学校国語は全国平均を下回ったものの、小学校国語・算数及び中学校数学は全国平均を上回っており、学力の維持・向上が図られています。
イ その他意見 運動習慣のKPI では令和6年度に続き全項目で全国平均を下回っており、運動習慣の定着に向けたさらなる工夫が必要です。
生涯学習課 【評価判定：A】
ア 特に良好であった内容 図書貸出冊数は5年連続県内1位を維持しており、図書館サービスの充実が図られています。 「夏休み！たんたん探険隊」や「夢見る授業」など、青少年が多様な体験活動を行える機会が確保されています。
イ その他意見 若年層の学習ニーズ把握と参加促進に取り組んでいただきたいと思います。
こどもみらい課 【評価判定：A】
ア 特に良好であった内容 こども家庭センター、ファミリーサポートセンターによる支援体制の構築により、地域で支え合う子育て環境づくりが着実に進められています。
イ その他意見 学童保育利用者増加に対応した施設確保を着実に進めることを期待します。

【評価判定】 A：特に良好、B：概ね良好、C：改善を要する